



男女共同参画社会を目指して  
あなたも私も自分らしく

少子化をみんなで考えてみよう



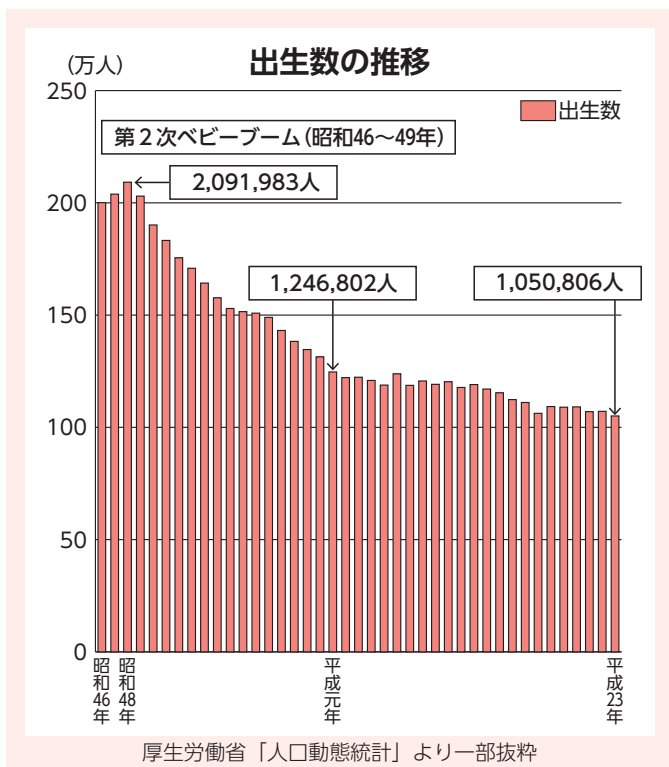
問い合わせ  
市民サービスグループ  
(☎85) 2139

市は、4月にさらなる男女共同参画社会の実現に向けて策定した『登別市男女共同参画基本計画(第2次)』に基づき、男女共同参画社会の実現のために、さまざまな取り組みを行っています。

男女共同参画を推進するためには、女性も男性も、それぞれの身体の特徴を十分に理解し合い、互いに思いやりを持って生きる事が前提となります。

また、女性も男性も健康で豊かな生活を営むためには、一人一人が日常生活における健康づくりの大切さを自覚することと、『生きがい』を感じる必要があります。

今号では、平成6年の国際人口開発会議で提唱された『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)』の観点から少子化問題を考えます。



※リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは、妊娠や出産、中絶などに関わる女性の健康を

重視し、さらに産む産まないの自己決定権のほか、生涯にわたって女性が自分の健康を主体的に守って生きることをいいます。

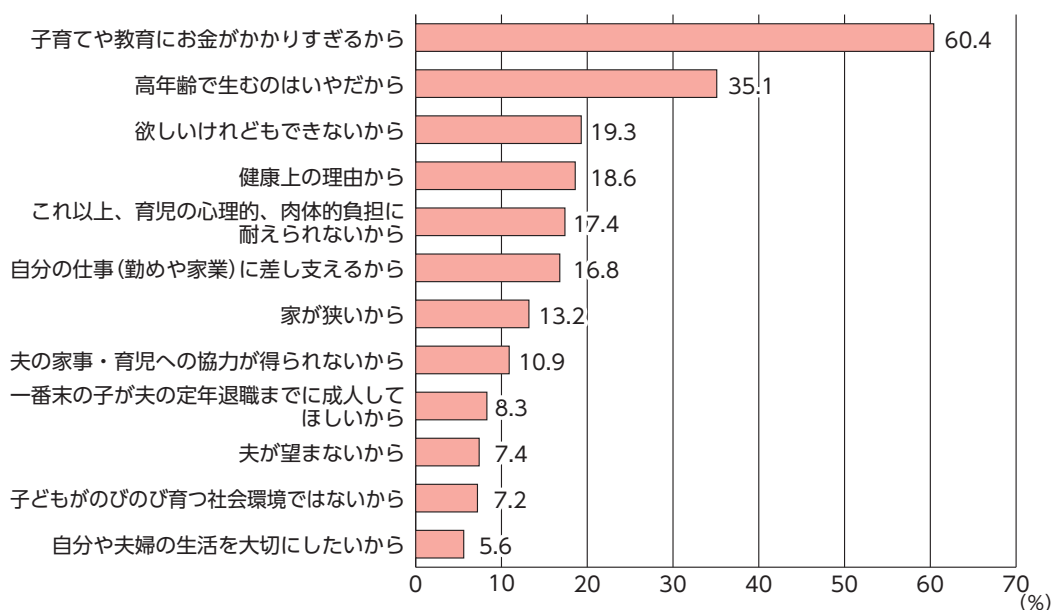
### 少子化が進む要因

少子化が進む要因は、晩婚化や未婚率の上昇のほか、新たに『もつきたい子どもの数の変化』が挙げられます。

国立社会保障・人口問題研究

### 理想の子ども数を持たない理由 (複数回答)

— 予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦について —



所の第14回出生動向基本調査によると、『理想の子ども数を持たない理由』で最も多かったのは、『子育てや教育にお金がかかりすぎるから』という経済的なものでした。

現在、女性の社会参画は少しずつ進んでいます。『働く女性』をサポートする体制は十分とは言えず、晩婚化や高齢出産もやむを得ない状況の方も多く見られます。

## 11月12日(火)~25日(月) 女性に対する暴力をなくす運動

配偶者などからの暴力や性犯罪、売買春・人身取り引き、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などの女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

また、暴力は犯罪であり、決して許されるものではありません。

ひとりで悩まずに、まず相談しましょう。

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



### 『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律』が一部改正されます

改正の主な内容は、適応対象の拡充や支援体制強化と整備推進などです。

詳しくは、内閣府男女共同参画局ホームページをご覧ください。

配偶者暴力防止法

検索

### 『ストーカー行為等の規制等に関する法律』が一部改正されました

詳しくは、警視庁ホームページをご覧ください。

ストーカー規制法

検索

## 男女共同参画作品展表彰式 にお越しく下さい

6月に開催された4回目の男女共同参画週間作品展で入賞した標語17作品、習字27作品、ポスター5作品を表彰します。

また、引き続き男女共同参画フォーラム2013を開催します。

◎日時 11月17日(日)

12時15分 表彰式

13時 ビデオフォーラム

◎場所 市民会館



## 高齢妊娠・出産がもたらす影響

高齢妊娠・出産がもたらす影響としては、女性の卵子が老化することによる『不妊』や妊娠しても流産を繰り返す『不育症』などがあります。

### 『卵子の老化』

全ての卵子は女性が胎児のころに形成され、この卵子が成熟し、第2次性徴期から閉経までの間に排卵されます。

### 『不育症』

妊娠しても流産を繰り返す状態を『不育症』といいます。

この原因は、子宮筋腫などの子宮形態異常や黄体機能不全による内分泌因子のほか、免疫によるもの、感染症などさまざま

な理由があります。現在では、不育症と診断されても、その原因ごとの治療により、8割以上の方が出産できるようになりました。

また、必ずしも妊娠年齢の高齢化が不育症をもたらすわけはありませんが、高齢妊娠は流産の確率を上げると考えられています。

## 正しい情報理解を

今後、女性が子育てをしながら、これまで通り仕事を続けるためには、家庭における夫婦の役割分担、男性の育児休業取得率の向上など、環境整備の推進が重要となります。

女性が『働き続けること』と『家庭や子どもを持つこと』は、決して二者択一を迫られるべき問題ではありません。

しかし、現実には『子どもを育てる環境になったときには、既に、自分の身体がその願いをかなえることができない状態だ

』といったこともありえます。それを回避するためにも、働く女性は、高齢妊娠・出産がもたらす影響などに関する情報を正しく理解することが大切です。

